

文書館通信

9号



東御市文書館

令和3年

10月 発行



☎ 文書館直通 0268-67-3312

東御市教育委員会文化財係直通 0268-75-2717

✉ メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp

読書の秋にちなんで、今月は文書館で所蔵する古い本をご紹介します。

☐【大日本史（だいにほんし）】

写真は「北御牧（きたみまき）国民学校」の古い管理シールが貼られた『大日本史』です。現在の北御牧小学校が、国民学校と呼ばれていた時代の図書が、北御牧郷土資料館に寄贈され、その閉館に伴い当文書館に移管されました。

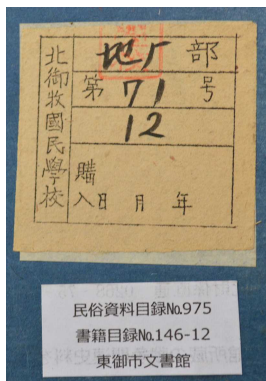


北御牧郷土資料館移管資料No.975

国民学校時代の管理シールの下に、「東御市文書館目録No.」を付けて、大切に管理しています。

時代劇の「水戸黄門（みとこうもん）」で知られる、江戸時代前期の水戸藩主である徳川光圀（とくがわみつくに）が国の歴史をまとめるように命じて、江戸時代1657年（明暦3）から編さんが始まり、1906年（明治39）まで249年の年月をかけて、完成しました。

全397巻を100冊にまとめられていますが、当文書館で台帳確認したところ、「九十三」の1冊だけが抜けていました。



北御牧国民学校のタグの下に

東御市文書館の管理No.を付けています。



中は大変きれいな美本の状態

【国民学校とは】

1941年「国民学校令」により、「小学校」を「国民学校」に改めて、初等科を6年、高等科を2年としました。

これは、戦時体制にすぐ応じられるようにとすることを、目的としたものでしたが、1945年の第2次世界大戦が終戦を迎えて、2年後の1947年に「学校教育法」により、初等科はふたたび「小学校」になりました。「国民学校」とはこの6年間の、小学校の事を指します。

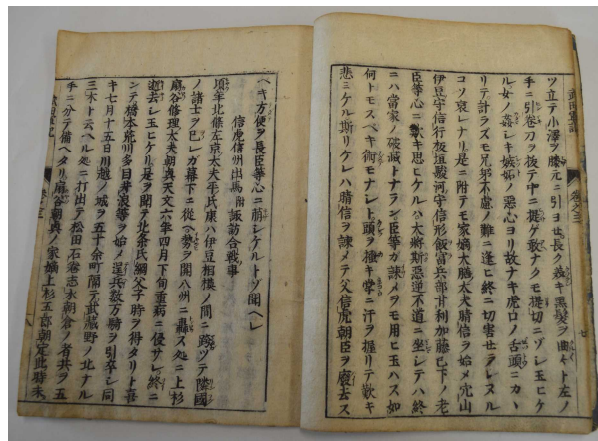
☐【武田三代軍記（たけださんだい軍記）】

とうみし とうぶ まち きたみまきむら

東御市は平成16年に、東部町と北御牧村が合併してできた市ですが、東部町図書館で所蔵していた古書類が、当文書館に移管されています。その中に、武田信玄・信虎・勝頼の軍記を書いた版本本があります。



東御市文書館管理目録No.538



東部町図書館 昭和57.10.18受入(関実雄様より寄贈)

信虎信州出馬に付き諏訪合戦の事

頃年北条左京太夫の氏康は、伊豆

相模、の間に跨つて隣国の諸氏を

己が幕下へ従え。勢いを関八州に

轟す処に上杉扇谷修理の太夫朝興

天文六年四月下旬重病に侵され、終に

逝去し玉いけり。是を聞て北条

氏綱父子時を得たりと喜んで、

橋本・荒川・多目・井浪等を始め

退兵数万騎を引率し、同じき七月

十五日、川越の城を五十余町隔て、

武蔵野の北なる三木と云える処に

打出て、松田・石巻・志水・朝倉

の者共を五手に分て備えたり。

扇谷・朝興の家嫡上杉五郎朝定、

此の時未だ（次頁に続く）



【文書館展示ご案内コーナー】

お歯黒壺（おはぐろつぼ）

お歯黒の墨（すみ）を入れていた、壺です。

お歯黒とは歯を黒い墨で塗ることで、歯が黒くなることから「おはぐろ」と呼ばれました。古くは上流の女性の間で始まり、平安時代には位の高い男子も行いました。のちに民間にも流行し、室町時代には女子が9歳頃になると成人の印に行いました。江戸時代には結婚した女性は、全て行いました。



お歯黒壺 資料目録No.574